**Topics** 

## **Fitness Industry Association**

トピックス

FIA

Fitness Industry Association

発行: (一社)日本フィットネス産業協会 TEL.03-5207-6107 FAX.03-5207-6108 E-mail. info@fia.or.jp http://www.fia.or.jp

NEWS

広島県フィットネスクラブ協会・FIA共催セミナー

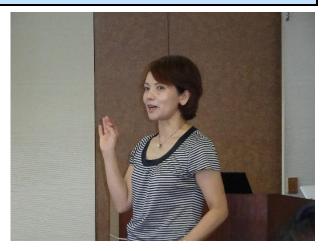
海外のヘルスケア事情 ~ドイツやスイスの取り組みから学ぶこと~

講師:株式会社ルネサンス

執行役員新規事業推進部長 望月美佐緒氏

2015年5月24日、広島南区文化センターにおいて、広島県フィットネスクラブ協会・FIA共催によるセミナーが開催された。ここでは、株式会社ルネサンス 執行役員新規事業推進部長 望月美佐緒氏による海外のヘルスケア事情のセミナーを紹介する。

日本との制度の違いのほか、実際に同氏が視察に訪れたドイツやスイスの施設を紹介。特に印象的であった施設の特徴や、それらを参考に、日本のフィットネス業界は今後どのように進んでいけばいいのか、解説した。



望月美佐緒氏

### ● それぞれの国における保険制度の違い

皆さん、こんにちは。本日は、昨年秋に訪れたドイツやスイスにおけるヘルスケア事情について、ご紹介したいと思います。クラブ数や面積、人口などの違いについては表のようになっており、どちらの国も、人口に対してクラブ数が豊富であることが伺えます。

### ◆表

	面積(km²)	人口(万人)	クラブ数(軒)
日本	378,000	12,653	3,500
ドイツ	357,000	8,230	7,900
スイス	41,280	766	750

続いて、日本との保険制度などの違いを簡単に紹介しましょう。保険制度については、ドイツでは日本同様必ず保険に加入することが必要ですが、法定健康保険とプライベート健康保険の大きく2種類から選べるようになっています。法定健康保険は掛け金が安い分、医療サービスは限定されます。プライベート健康保険は、掛け金が高く、主に高所得者の方や、充実した医療サービスを望む方向けの保険で、国民の約11%が加入しています。

なお、日本では、病院にかかると薬の処方箋を渡されますよね。ドイツでは、そこで運動の処方箋を渡されることがあります。それを持って対象の施設(スポーツクラブも含む)に行けば、保険で運動処方が受けられます。関節疾患やぜんそく、糖尿病など内的疾患への処方などがあります。

次にスイスの保険制度ですが、基本的に日本と同じです。 日本では、基本的な社会保険や国民健康保険に加えて、プライベートでがん保険などをかけたりしますが、スイスでも同様にプライベートで保険をかけると、保険会社がクラブに行く費用をサポートしてくれる制度もあります。スキーやボウリングなど広く健康に関わる取り組みに対してサポートしてくれるものもありますね。向こうでは、お客さまに健康になっていただければ支払う保険金額も少なくて済むから、という考え方のようです。

### ● 提供サービスが豊富なヨーロッパ

本日は、私が訪れたなかでも、特に特徴的な施設について紹介したいと思います。施設の種類は、一般的なフィットネスクラブ、保険だけで運用されているメディカルフィットネスクラブ、そして温泉療法を中心としたウェルネスフィットネスクラブというふうに大きく3つのカテゴリーに分類し、紹介させていただきますが、実際には1つのクラブで複数のカテゴリーを運用しているクラブも数多くあります。

### ● 水中トレーニングが盛んなドイツ

ドイツの地名には「バードホングルク」や「バードベリンゲ ン」など、"バード"が付くところが多いのですが、その意味 は"温泉"です。ライン川の周りには温泉が出ているところ が多く、ライン川の片側にあるフランスは公衆浴場に入る習 慣があまりないため発達していないのですが、ドイツでは温 泉療法が非常に盛んに行われています。温泉を使ったクア ハウスでは、保険適応のリハビリや水中運動のプログラム など、さまざまなサービスが提供されています。そのような クアハウスを中心にした街づくりがなされている都市では、 人口が1万人であるところに、観光や温泉療法などを目的 に60万人もの人々が訪れるということもあります。水中での 運動療法は日本では若干下火になっている気がしますが、 水中であれば転んでも安心ですし、私は日本でもこれから また見直されていくのではないかと考えています。実際のプ ログラムとしては、南米も含めヨーロッパでは水中スピニン グが盛んですね。水中プログラムが週に約100本も用意さ れている施設もありました。施設には、一般的なジムのほ か、いろいろなタイプのプールや豊富なサウナも用意されて います。

### ● リハスポーツという制度

日本では、病院でのリハビリ期間に限りがあり、その期間を過ぎた方たちが行き場を失う「リハビリ難民」という言葉があることは、皆さんご存知かと思います。ドイツは日本よりも通える期間が限られていて、基本3ヶ月間、50回までしかリハビリを受けることができません。しかし、「リハビリ難民」を生み出さない「リハスポーツ制度」というものがきちんと用意されています。

例えば、腰痛などで痛みがあって医療機関を受診し、3ヶ月または50回の治療が終わったとします。ここで医師からリハスポーツ専用の処方箋を受け取ると、対象のクラブで最大18ヶ月、回数では50回まで、リハビリを受けられるようになっているのです。疾病によっては120回受けることもできます。しかも、保険が適用されるので、クライアントの負担は軽くて済みます。とてもいい仕組みですよね。

なお、このサービスを提供するには、クラブとしてドイツの 身障者スポーツ協会の資格認定をとることが必要であり、 ハードとしては70平米以上かつ入り口がフラットであること などの条件をクリアしなければいけません。指導者につい ては、基礎コースを120時間受講したうえで、内科的疾患、 運動器の疾患など、さまざまな症例についてさらに100時間 受講することが必要になります。

### ● スイスを拠点に展開されている「キーザートレーニング」

「キーザートレーニング」は、ヴェルナー・キーザー氏という、現在74歳になる有名な指導者であり経営者の方が展開する施設です。1号店をスイスのチューリッヒにオープンさせてから、40年間でフランチャイズを8ヶ国に約140施設、展開

- 1. 協調性
- 2. 感覚器
- 3. 理論に基づいた開発
- 4. 小型/小スペース

ヨーロッパではもともとコーディネーショントレーニングが盛んで、アスリートやシニアなど誰もが取り組んでいるのですがなかでも、「リハプラックス」が提供しているトレーニングはすばらしかったですね。ここの経営者であるライトネル氏は元々理学療法士ですが、彼のコンセプトは「リハビリやトレーニングを楽しく!」なのです。そのために楽しくトレーニングできる機器の開発やトレーニング方法にとてもこだわっていました。例えば、世の中に平らな場所というのは実際にはほとんど

ないはずです。そこで、不安定な場所でもきちんと歩けるように、でこぼこした床を再現したフロアマットをつくり、その上でバランス感覚を鍛えるトレーニングを提供したり、さまざまなかたちのバランスディスクを使い、足裏の感覚器の向上を狙うトレーニングなども提供していました。彼のトレーニングのすばらしかった点は、行いながら周囲の人々とコミュニケーションをとれるため、皆で楽しめるようになっていることでした。きついのが当たり前のリハビリを楽しくできるよう、本気で考え、その結果、開発したツールやマシンなどを欧州全土に販売し、ビジネスとしてもかなり成功されています。

なお、バランスというのは視覚から80%と、残りは足の裏、耳(内耳)の大きく3つから情報を得ることによって保たれています。大体60歳以上になると、前庭感覚(平衡感覚)、体性感覚(皮膚感覚など)が急激に衰えるといわれていて、すると3つの受容器のなかでも特に視覚に頼りがちになるため、ご高齢になると目の疲れを訴える方が多くなるのです。ですから、この2つの機能を衰えないように鍛えることが非常に重要になります。日本で行われている転倒予防のエクササイズなどは関節の可動域を広げたり、筋トレに重点を置いたものが多いですが、私は、この体性感覚器を刺激していくエクササイズ

しています。この施設の特徴は、有酸素マシンが1つもなく、 すべて筋カトレーニングマシンで統一されていることです。 ほぼすべてのマシンをキーザー氏やキーザー氏のところに いる専門スタッフが開発しています。

なかには、骨盤底筋群を鍛え、さらにそれがきちんと計測できるマシンもありました。骨盤底筋群を鍛えるプログラムは向こうでも注目されているのですが、本当に効いているのか、本人も指導者もわかる術がないことが課題でした。このマシンを使えば、きちんと骨盤底筋群に力が加えられているかどうかを見ることができます。

「キーザートレーニング」は、現状のフィットネスとヘルスマーケットの間の立ち位置として、保険で最初は通われ、その後、保険適用が切れても自費で通われる方が多いということも印象的でしたね。

### ● EMS導入施設「ボディストリート」

ここは、筋肉に電気的な刺激を与えながらトレーニングするEMSトレーニングを提供する施設です。ほとんどの動きは立位で行うため、施設としては小スペースで十分であり、家賃が多少高くても都心を中心に展開していることが特徴です。4~5年前にドイツを訪れたときはまだ少なかったのですが、ここ数年、年々増加してきています。

### ● 欧州施設プログラムの特徴

欧州で視察した施設と、そこで展開されているプログラム について大きくポイントをまとめると、次の4つに集約される かと思います。

がもつと必要なのではないかと感じました。

また、エキセントリックな負荷がかかるトレーニングマシンもありました。エキセントリックな収縮のほうが筋肉の出力が大きくなりますが、シニアだと、これがうまく使えないために階段を降りるときに膝などに負担がかかってしまい、ケガをすることもあります。エキセントリックな負荷がかけられる筋力トレーニングができるというのはいいですよね。

なお、既述の「キーザートレーニング」には、腰痛改善の効果を図るマシンもありました。バックエクステンションを行い、どこの位置でどれぐらい出力しているかをみることができるんです。そこで出力がうまくできない角度があれば、どうすればきちんと出力できるようになるかを考え、指導していきます。

そのほかにも、足裏の安定性を強化するマシンなどもありました。足裏の安定性が悪ければ、それにつながる身体の機能にも悪い影響を与える場合があります。

このように、身体の細かい部分を強化するマシンが多かっ たのも特徴ですね。

### ● 最後に

私が今回の視察で学んだことは、「考えだす力」や、「挑戦して新しい物事をかたちにしていく力」の大切さです。ドイツやスイスとは制度の違いがありますが、日本人の強みや、日本の環境だからこそできることもあるはずです。 我々が今後できることは何か、もっと考えることが必要でしょう。

これまで、この業界は、クラブにいらしてくださるお客さまを待ち、そこにいらっしゃった方のことを考えていればよかったかもしれません。しかも、いらしてくださる方はもともと 運動が好きだったり、自分に投資をしようという意欲をおもちなので、その方々に対応するというのは、ある意味、楽

なことであったかもしれません。しかし、これからはクラブ 外にいる方たちにもっと目を向けなければいけない時代で す。実は外にいる方々こそ、本当に運動が必要なのです。 そこに私たちがアプローチをすることで、もっともっと市場 も拡がるはずです。

フィットネスクラブ以外の通信、流通、家電などの大手企業は、ヘルスケア市場に莫大な資本を投入し、様々な取り組みを始めています。また、今、業界間の敷居がどんどん低くなり、様々な業種で健康や運動についての取り組み、また、別の視点で見ると「元気なシニアの囲い込み」の取り組みが始まっています。

その一例として、今の調剤薬局の取り組みなどは参考になるかもしれません。薬の価格はどこでも一緒ですから、価格のアピールでお客さまを取り込むことはできません。そこで、健康セミナーを実施して簡単なトレーニングを教えたり、カフェを併設したりするなど、さまざまな工夫をされています。元気なうちからその薬局に行く習慣をつけていただければ、実際に病気になったときにも訪れてくれる可能性が高まりますよね。

私たちフィットネス業界に従事する者は、このように外で起きていることにもっと敏感になることが必要でしょう。また、予防医学やポストリハビリにもっと影響を与える活動もできるはずです。新しい商品やサービスの開発にも取り組み、日本発のものを海外に出していけたらいいですね。

### **Board Meeting**

### 理事会報告

2015年5月8日(金)弘済会館(東京・麹町)にて第170回となる理事会を開催した。理事、監事22名のうち19名が出席し、協会運営に関する事項並びに6月の総会議案の審議などを行った。

### (1)会員入退会審議

### ●入会

賛助会員

(株)日吉

滋賀県近江八幡市 プール・浴槽水の水質検査(宅配利用による検査・Webによる検査データ閲覧等のサービス)

### ●退会

正会員

(株)文教センター、(株)ライフウェル 賛助会員

(株)ゼンリンデータコム 審議の結果いずれも承認された。

### (2)後援名義申請

「第7回アクアセラピーシンポジウム」

主催:アクアエクササイズ国内総会実行委員会

期間:8月15日(土)~17日(月)

会場:田園スイミングスクール

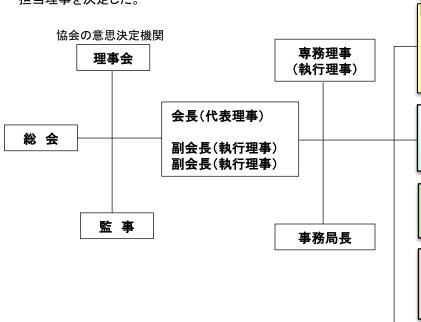
審議の結果後援することを承認した。

### (3)委員会別の進捗状況等

### =社会渉外員会=

### ■委員会の新設

平成26・27年度にわたり構築中の「クラブ運営技能検定試験」(厚労省支援事業)は、制度完成後FIAが自主的に事業として 運営することとされており、平成28年度以降の取り組み方を検討する為の委員会を設置することとした。これに伴い各委員会 担当理事を決定した。



### 名称:社会•涉外委員会

・協会(業界)全体として、

行政・関連諸団体・海外の団体等との連携や協調

・協会(業界)の活動の広報・情報公開

社会問題、法務、他組織連携、情報提供

### 名称:調査研究委員会

- ・業界の基礎的データの収集・整備
- ・運営/経営上の共通デーマの調査研究
- ・業界のライブラリー機能

#### 名称:事業委員会

- ・協会の構成員や会員顧客に役立つイベント等の企画・実施セミナー
- ・スタッフの向上に資する勉強会、業際交流会、等の企画立案

### 名称:組織基盤委員会

- ・協会の組織基盤の強化、会員間情報交流促進
- ・会員加盟促進や加入メリットの創出
- ・会員クラブ共通課題への対処研究

### 名称:フィットネスマネージメント検定運営委員会

検定制度運営基盤の構築全般

\_\_\_\_\_

- >検定制度運営に係る組織編纂立案/稼働準備
- >検定制度普及に係る戦略の立案
- >検定制度の業界浸透(活用度)に関する調査、研究等

### ■クラブ運営技能検定制度

- 平成26年度分事業費の精算・申請を行い4月27日厚労省より31,050,613円の支払いを受けた。
- 2.3月に行った会員宛て説明に伴うアンケートの中間集計。 (回答の多かったもの)
  - ①.3段階の級の構成=この程度で良い。
  - ②3つの級のレベルイメージ=自社のレベルとほぼ合って いる。
  - ③学習のガイドライン=この程度の学習は必要。
  - ④学習ツール(学習のガイドラインによる学習手法)=例 示した3通り(テキストブック・eラーニング等のメディアッール・講習会)に均等に支持が分かれた。
  - ⑤自社人事制度での活用=(回答が多い順) 講習受講を社内教育の一部に活用・中間採用時の参 考になる・昇級昇格評価の参考になる。 課題=検定合格とポジショニング・待遇の相関を整備 する必要がある。
- 3. 平成27年度の主要予定 問題の作成(4~5月)約1,200問がほぼ完成(業界内外 関係者並びに賛助会員企業などから協力を得た) 試験の試行(8~9月) 会員企業・関係団体や教育機関への説明会・研修会 (1~2月)

### ■音楽著作権管理団体との協議

JASRACに次いでクラブでの音楽使用料徴収要請のある イーライセンス社との今後の交渉方針について協議。現在負担している額を各管理団体の規模等の比率に応じて分割する手法を提案する。

■埼玉県「芸術文化&スポーツによる健康増進事業」 
埼玉県スポーツ振興課の体稿により県内に推覧する。

埼玉県スポーツ振興課の依頼により県内に施設をもつ加盟 企業へ参加依頼を行い、10社40を超えるクラブの協力を得て 準備に入っている。県の美術館・博物館とスポーツ施設の利 用者を相互クロスすることで互いの利用者拡大を狙う企画事 業。

### =事業委員会=

- ①全国スポーツクラブ駅伝 本年度の日程
  - ·東京 11月27日(土) 夢の島陸上競技場
  - ・大阪 12月19日(土) 長居第2陸上競技場

### ②FIAマスターズスイミング

- ・FIAマスターズスイミングフェスティバル2015(第10回) 平成27年9月27日(日)(於:京都アクアリーナ) 平成27年6月19日(金)~募集開始
- ・FIAマスターズスイミング選手権大会2016(第22回) 平成28年2月20日(土)・21日(日) (於:千葉県国際総合水泳場)
- ③SPORTEC 2015
- 特別協力団体としてセミナー3本を提供。 7月28日(火)~30日(木) 東京ビッグサイト セミナー内容について意見交換
- ④FIA会員交流パーティー 7月30日(木)に開催予定とした。 (本年度総会は6月11日総会のみの予定。会員交流パー

### =調査研究委員会=

ティーは別開催とした)

新規入会者対象調査「継続利用を可能にした要素」入会

■アクティブレジャー事業者の品質評価・認証制度 平成26年度の制度完成を受け、本年度より(一財)日本規 格協会による事業となり募集・応募要項並びに説明会日程が 発表された。FIAでは加盟会員宛てこれを広報した。 http://www.activelife365.com/index.php(制度のHP)

■消費税転嫁適正化に関する経産省への報告

1月31日の要請を受け、加盟企業における対応状況調査・ 説明会の実施等一連の活動について4月27日付けにて最終 報告を行った。また、加盟クラブに対し、中小企業庁など関係 機関からの立入調査が引き続き複数行われていることから、 対応済みの企業にあっても継続した適正対処が求められる。

■マイナンバー制度事前準備に関する広報

10月より個人宛にナンバーの連絡が開始され、平成28年より企業が健保・年金・税などの業務に使用を開始するマイナンバー制度の企業における事前準備について、経産省より広報依頼があったことを受け、会員企業あて情報を配信。 (FIAホームページ「お知らせ 4月17日」に掲載)

■会員契約適正化指針「平成26年度改定版」配布 平成26年度事業として行った「会員契約適正化指針平成26年度改定版」を3月31日加盟会員宛て配信・ホームページ(会員ページ)に掲載すると共に、本改定の起源である「適格消費者団体 NPO法人消費者機構日本」及び平成26年9月、申し入れのあった「NPO法人日本障害者協議会」に対し通知し

から1-2年継続利用出来ている会員を対象とし、入会時の 期待・利用後の実感・クラブへの意識・継続利用できている 要素などを探る。

3月=調査内容確定。

4月=調査実施。結果データ納品済み。 専門委員に於いて分析中。

8月=報告書刊行予定。

### =組織基盤拡充委員会=

①みちのくフィットネスクラブ協会 FIA共催セミナー 3月21日(土)32名

- \*アスリート指導現場で実践しているカラダチェックとフィードバック法』
- \* 足部のコンディショニングとシューズ選び概論 年次総会 5月22日(金)

②北陸フィットネスクラブ協会

北陸協会主催セミナー(FIA後援)開催に向けて調整中

③九州スポーツクラブ協議会

FIA共催セミナー 3月3日(火) 35名

- \* 最近のフィットネスマーケットの動向とFIAの取組
- \*世界と日本のフィットネス業界は何が違うのか
- \*有効なスタジオスケジュール編成とスタジオ管理 他

### (4)総会議案書の審議

事務局提案の総会議案書を審議、一部修正のうえ決定した。

議案1. 平成26年度事業報告・決算報告・監査報告承認の件

議案2. 平成27年度事業計画書・収支予算報告の件

議案3. 理事選任の件

### Information

### お知らせ

### 1. F | A定時総会

日時:6月11日(木) 14時—15時30分

場所:ベルサール八重洲 東京都中央区八重洲1-3-7

正会員代表者の皆様には既にご案内しておりますが、他の 会員の皆様も傍聴して頂けます。

### 2. FIAホームページ掲載内容メンテナンスシ ステム改善

かねてよりご案内申し上げておりました通り、FIAホームペ 一ジ掲載内容メンテナンスシステムについて、正会員加盟施 設検索ページ(クラブの基本情報)などを、会員窓口ご担当者 様が随時WEB上の管理画面からチェック・変更・更新ができる よう、システムの改善を行い、5月25日にその操作方法につ いて詳細を記したマニュアルを会員ご担当者へお送りいたし ました。

### ---正会員 向けマニュアルについて--

FIAホームページ上の「会員加盟施設検索」に載せる施設 情報は各社ご担当者のお手元から最新情報に更新して頂く 仕組みになっています。

このマニュアルが扱う管理画面は、FIAホームページ上のクラ ブ情報を常に最新なものに保つことを可能とします。

ご担当の皆様におかれましては、貴社クラブの最新情報を 発信いただきますためにも、是非ともこの機能をご理解いた だき、ご活用下さいますようお願い申し上げます。

### 4. SPORTECセミナー

FIAは業界催事「SPORTEC」の特別協力団体です。本年はセ ミナー3講座を提供しています。

SPORTEC2015 7月28日(火)~30日(木) 東京ビッグサイト

■C-5 7月29日(水)13:00~14:30 会場C 「これからのヘルスケア産業におけるフィットネスクラブ 事業のあるべき取り組みについて」

**<パネリスト>** 

(株)オージースポーツ 代表取締役社長 山村 功 氏 (株)コナミスポーツ&ライフ 代表取締役社長 塩野 紀子氏

(株)ティップネス 代表取締役社長

武信 幸次氏

<ファシリテーター>

(一社)日本フィットネス産業協会事務局長 松村 剛

■C-6 7月29日(水)15:00~16:30 会場C 「女性顧客を呼び戻し、定着化を図る各社取り組み」 <パネリスト>

グンゼスポーツ(株) 営業企画部マーケティング戦略室室長 山中 博樹氏

(株)ジェイアール東日本スポーツ

フィットネス事業部門 営業企画部副部長 唐津 大輔氏 (株) 東急スポーツオアシス ブランドコミュニケーション部

ゼネラルマネージャー 片岡 康幸氏

(株)ルネサンス 執行役員 新規事業推進部長

望月 美佐緒氏

<ファシリテーター>

(株)クラブビジネスジャパン 取締役 岩井 智子氏 (注意事項)

- 1. クラブの新設・廃止の際はタイムリーに更新して頂けるよう ご注意ください。
- 2. 施設のデータやJASRAC関連情報(音楽使用面積・会費額 など)も、この管理画面から更新するように既にシステム化 されております。

施設情報の更新作業と併せて、上記更新作業も実行して いただきますようお願いいたします。

なお、音楽使用料関連データはJASRAC側にも提供され

また、正会員基本調査における年会費計算書や運営形態 の情報の入れ込みはまだ準備中ですのでご了承ください。

### --賛助会員 向けマニュアルについて----

賛助会員様には業務紹介ページの内容を、管理画面から自 由にチェック・変更・更新できるように改善いたしました。

また、PRしていただく写真も掲載できるようになっております。

FIA事務局では、会員相互のみならず、広く一般閲覧者の方 に対してもより新鮮で迅速な情報発信ができるよう、Webの改 善を進めてまいります。

是非、有効にFIAホームページをご活用ください。

### 3. F | Aマスターズスイミングフェスティバル

2015年9月27日(日) 京都アクアリーナにて開催 募集要項公開と受付開始:6月19日(金)

FIAホームページに掲載

申込締切:8月4日(火)18時

■C-9 7月30日(木)15:30~17:00 会場C 「若者がたくさん参加し、活性化するスポーツ・フィット ネス市場のつくり方」

**<パネリスト>** 

(株)ADK

ADK若者プロジェクトリーダー 藤本 耕平氏

(株)リクルートライフスタイル

じゃらんリサーチセンター

加藤 史子氏

(株)池澤守企画(元バンダイナムコ)

代表取締役 池澤 守 氏

<司会進行>

(株) クラブビジネスジャパン 代表取締役

フィットネスビジネス編集長

古屋 武範氏

- ●受講費用: 各4,000円
- ●申込・問合せ SPORTEC事務局

TEL: 03-6273-0403

https://www.sports-st.com/

### 5. FIA会員交流パーティーのご案内

毎年恒例のFIA会員交流パーティーを以下の通り開催い たします。今回は総会日ではなくSPORTEC会期に合わせ ての開催です。皆様奮って業界の交流に場へ足をお運び ください。

- ●日時:7月30日(木)18時~19時30分
- ●場所:東京ベイ有明ワシントンホテル21階グランブラン
- ●参加費:会員5,000円 非会員10,000円
- ●申込・問合せ FIA事務局

TEL: 03-5207-6107 E-mail:info@fia.or.jp

※詳細は後日、会員に向けてご案内いたします。

### FIBO COLOGNE 2015 視察レポート

〔記:FIA事務局長 松村 剛〕





(FIBOの会場であるCOLOGNE MESSE)

(ケルンの象徴である大聖堂)

去る4月9日(木)から12日(日)の4日間に渡り、ドイツ連邦 共和国ヴェストファーレン州のケルンにて、世界最大級のフィットネス・ヘルスケア関連のトレーードショーである"FIBO COLOGNE 2015"が開催されました。

当協会からは、松村がヨーロッパのフィットネス関連団体との連携の目的も併せ、このトレードショーを視察いたしましたので、ここにその様子を会員の皆様にレポートさせていただきます。

FIBOは、フィットネス、ヘルスケアのみならず、幅広くウェルネス全般に係る、あらゆるサービスやハードウエアー、ソフトウエアーが紹介される、関連業界では世界最大規模のトレードショーです。

トレードショーの名称である"FIBO"の由来は、FITNESSと

特にボディービルに関しては、ヨーロッパはもちろん、北米からもトップビルダーが多数来日しており、例えば、ホテルのレストランでは、たった一人をとっても目が釘づけになってしまうようなマッスルアスリートによって埋め尽くされているという、実に壮観なる光景をあちこちで目にします。



(ヨーロッパにおけるボディービルの盛況と市場規模に、驚きを感じた)

このトレードショーの大きな特色は、4日間の期間中の前半2日間はB to Bの展示会なのですが、後半2日間はプライベート来場者も対象としており、その来場者が58,000人にものぼるという点です。この一般愛好者の来場枠は予め割り当てられており、今年は、前売りの時点ですでにチケットはソールドアウトとなっており、当日来場しても入れないという状況だったということです。

このことからも推察できる通り、ドイツを中心とするヨーロッパにおいて、フィットネス、及びボディービル、さらにヘルスケアは極めてポピュラーです。

若年層にとっても、フィットネスに裏付けされたボディーやライフスタイルは、カッコいいことを象徴する一部として浸透していることを、垣間見ることができます。

BODY BUILDINGそれぞれ頭の二文字から取られているということからもわかるように、メインはフィットネスとボディービルディング周辺の商材が中心の展示会です。

さて、注目はその規模です。以下にざっと、FIBOの規模をご紹介します。

### ■FIBO COLOGNE 2015

●4日間の来場者数:138,000名

(対前年比119%:22,000人増)

●出展社数:725社(40各国:対前年比104%)

●フロアー面積:130,000㎡

ケルンの人口が約103万人ですから、FIBO関係者がここを 訪れることによって、人口が13.5%も一気に増えることになり ます。

周辺のホテルはフィットネス関係者、ボディービル関係者で 埋め尽くされているという、よい意味で極めて不思議な光景を あちこちで見ることになります。





(プライベートビジターの来場する後半の2日は 来場者で会場が埋め尽くされる)

## 【参考】ヨーロッパ及びドイツのフィットネス市場規模

	ヨーロッパ	ドイツ	日本
総売上(\$)	32,944,011,360	5,884,060,000	5,132,840,000
クラブ数	49,197	7,940	3,572
会員数	44,865,000	9,000,000	4,051,794
参加率		11%	3%

FIBOの現在の規模は、さかのぼることたった5年前と比較して、ほぼ3倍の来場者規模、1.5倍の出展社数と急速に伸びているといいます。

この成長が市場規模並びにフィットネス参加率の拡張と連動していると推測されるので、ヨーロッパ並びにドイツの市場は、右肩上がりであるといえるでしょう。

### ■FIBOの構成

フィットネス及びヘルスケアのトレードショーとしては広大、といっても過言ではないFIBOは、大きく2つのテーマをもって構成されています。その二つの看板が"FIBO"と"FIBO POWER"という2つの看板です。

先にも述べた、"フィットネス"と、ボディービルやマーシャルアーツ系フィットネスに関係するハード、ソフト、サプリメントそしてプログラムを包括したゾーンが"FIBO POWER"です。

この2つの看板のもとに、さらに9つのジャンルが設定され、 関連づけられた8つのホールに振り分けられています。 その9つのジャンルは、以下の通りです。

①トレーニング機器、②メディカル、③インテリア、④サービス、⑤スポーツニュートリッション、⑥ウェルネス&ビューティー、⑦ファンクショナルトレーンング、⑧グループフィットネス、⑨トレーディング

こうして、フィットネス&ヘルスケアに関連する、ありとあらゆるものが世界中から一堂に会す場、それがFIBOです。

## FIA

### ■FIBOは一般のフィットネス愛好者が楽しみ、ショッピング する場でもあります。

さて、先にも少し触れましたが、このトレードショーが世界中の関係各社から支持され、期待されている特徴の一つが、後半2日間は、一般愛好者にも門を開いていることです。

私は、会場からトラム(路面電車)で20分ほど離れたケルン郊外に宿をとり、そこから毎日通ったのですが、トラムが最寄り駅について改札を出ると、フィットネスで鍛えた肉体自慢の多くの男女が、わざわざTシャツからタンクトップに着替えて会場に向かうのです。そのシーンが印象に残っています。

こうして後半二日間は、一般の愛好者がドイツをはじめ、ケルン近隣のオランダ、ベルギー、フランスなどからどっと詰めかけ、特にFIBO POWERゾーンのホールでは、身動きができないほどの盛況です。

この盛況ぶりは、出展社側にとって前半の"B to B"を主とした二日間とは質の異なるメリットを享受できるようです。

まず、一つはなんと言っても、ダイレクトに物販の売り上げです。サプリメントやエクイップメント、アパレル等、一日分の商品の売り上げだけで出店経費を回収できてしまうメーカーも少なくないということです。そうした状況ですから、ダイレクトプロモーションの目的は充分果たすことができるといいます。

一方で、マシーンメーカーやインテリアでの出展企業にとって、一般コンシューマーへの露出はそれほど期待できないのでは?と考えがちですが、この点においても、そもそもフィットネス関連施設へ日々通っているコンシューマーとなれば、やはりそれぞれの出展に対して、自分の趣味や嗜好によって反応し、そこに耳を傾けることで、利害関係者からでは回収することのできない、販促や開発のヒントを得ることができるということです。

ヨーロッパを中心に世界中から関係者が、最新のトレンドにキャッチアップする場所、それがFIBOです。

それなりの規模の出展ブースでは、多くのスタッフが在中し、 活発に商談している景色があちこちで見られますが、よく見る とそれぞれのスタッフのネームプレートには様々な国旗が印 刷されており、対応できる言語を示しています。

そうした点をとっても、このトレードショーのグローバルさを実感できます。

そんな中で、特に注目したのが、韓国と台湾企業の積極果敢な出展です。

両国とも、ホールの中にパビリオンを設け、マシーンやシステムなどをセールスしていました。

ある、韓国系のフィットネス機器メーカーの関係者に聞いた ところによると、その企業の売り上げ構成比は、国内よりも圧 倒的に海外の比率が高く、70%を超えるということでした。

その中でも、ドイツ、イタリア、オーストリアなど、ヨーロッパからの受注が多いそうです。

こうしたパビリオンを確保するにあたっては、国も間接的に関与し、ヨーロッパ市場へのヘルスケアサービスの輸出を後押ししているとのことでした。

日本からは、(株)ザ・ビッグスポーツが姿勢測定器 "POSTURE ANALYSER 2000"を、そして(株)タニタが業務用 の体組成計をそれぞれ出展され、多くの関心を集めていまし



た。



((株)ザ・ビッグスポーツの出展風景)

そうです。FIBOは、各業者が広くヨーロッパ内外から集まる、 感度の高いコンシューマーと直接向き合って、ダイレクトな市 場ニーズをキャッチアップする機会でもあるのです。



(プライベートビジターによる売り上げで出店費用は十分賄えるとのこと)

### ■日本からは(株)ザ・ビッグスポーツや(株)タニタが出展

展示会場をしっかりと見て回るには、最低でも二日間は必 要ではないかというのが筆者の印象です。

しかし、アメリカにて開催される完全にB to Bにコンセプトを特化したIHRSAのようなトレードショーでは、得ることのできないFIBO参加の重要な意義は、やはり後半二日の一般コンシューマーも来場する空間の中にこそあると考えます。





((株)タニタはインテリアホールでの出展を行っていた)

### ■日本のフィットネス&ヘルスケアをグローバルマーケットへ

FIBOに参加したことによって、日本のフィットネス&ヘルスケア関連サービスが、加速度感をもってグローバルマーケットに出ていくことによって得られる新たな可能性を、あらためて実感しました。

グローバルに出て、そこで評価されることによって得られる、今まで発想されなかった開発のキーワードを見出すことも、できるのではないか。

特にFIBOのようなヨーロッパという、言語も価値観も文化の背景も異なる国々によって構成されるマーケットにおいては、 尚更なのではないかと感じます。

例えば、トレーニングマシーンをとっても、IHRSAトレードショーでは目にすることのないメーカーが数多く出展しており、機能は変わらずとも、サイズやデザイン、色使いなどの面で、新鮮なものがたくさんあります。

それらを目にするだけでも、そのイメージから発想される、 新しいスタイルのクラブや顧客ターゲットのイメージが湧いて きたりします。

そうした新たな発想は、IHRSAとはまた異なったインスピレーションでした。

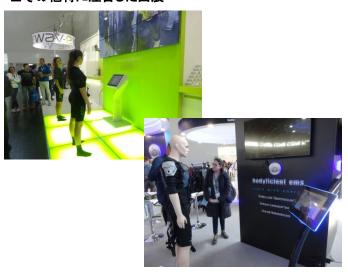
多様な文化や価値観に晒すことで、あらたな顧客開拓が可能となり、そこから育まれる企業間、そして人間関係のコミュニケーションを通してローカライズされていくビジネスチャンスを、もっと日本企業も求めていくと良いのではないでしょうか。

そして、FIAとしては、そうした企業の挑戦をサポートするための情報収集、海外の関連団体との関係構築が新たな役割であるということも、確認できた視察でした。

なお、FIBOの視察レポートについては、フィットネスビジネス 誌の7月号にも掲載させていただく予定です。

※FIBO、IHRSAに関するさらに詳しい情報が必要な方は お気軽にFIA松村までお問い合わせください。

### ■その他特に注目した出展



(EMSを使ったトレーニングの提案が活発)







(このMilon社のマシーンのように、電気的抵抗調整によって、コンセントリック(短縮性筋活動)とエキセントリック(伸張性筋活動)の動きを1台で可能にするマシーンを提案する企業も何社かあった。)

### **Associate members**

### 賛助会員紹介

### 株式会社日吉



左:オンライン検査報告 『アナレポ』

### 企業PR

創業60年、80以上の事業許認可を誇る環境リーディングカンパニーとして環境分析、環境インフラ施設の維持管理をはじめとしたさまざまな環境サービスをワンストップ・ソリューションとしてご提供しています。

主要商品・サービス

### 日吉オンライン検査WEB(http://www.hiyoshi-online.com)

フィットネスクラブなどの施設の遊泳用プール水、浴槽水、 飲料水などの水質検査を、信頼と実績のある日吉直営のオ ンライン検査にてご依頼ください。

年間でご依頼いただけましたら、検査スケジュールに応じて 定期的に容器をお送り致します。お客さまは、そこに採水し、 宅配便で検査水を送るだけ。検査を忘れることなく、簡単かつ 安価に、そして公的に利用できる水質検査を受けることがで きます。

<価格例>

- ・遊泳用プールの衛生基準項目5項目:6,300円
- ・レジオネラ属菌検査:5,500円

そのほか、お客さまのニーズに応じた検査項目にも対応可能です。まずはお気軽にお問い合わせください。

### オンライン検査報告(http://www.anarepo.jp)

過去の水質検査結果や速報をWEBでご覧いただけるサービス『アナレポ』もございます。効果的なデータ管理や傾向対策に活用ください。

### 会社概要

会社名/株式会社日吉 代表者/代表取締役 村田 弘司 所在地/滋賀県近江八幡市北之庄町908 担当部署/営業部 担当者/小西 忠彦 連絡先/TEL. 0748-32-5001 FAX. 0748-32-4192 e-mail/info@hiyoshi-es.co.jp URL/http://www.hiyoshi-es.co.jp

### New Clubs

### 出店情報

### 6月のオープンクラブ

### スポーツクラブNAS パークプレイス大分

所在地:大分県大分市公園通り西1丁目6675-4

TEL:097-520-6691

●FIA会員

### FASTGYM24 新高円寺

所在地:東京都杉並区高円寺南2-19-4

黒柳ビル地下1階

TEL:03-5305-5381

●FIA会員

#### FASTGYM24 江戸川橋

所在地:東京都文京区関口1-19-6 弥助ビル2階

TEL:03-5225-2551

●FIA会員

### Curves八尾太子堂

所在地:大阪府八尾市南太子堂2-1-59 谷口ビル2F

TEL:072-991-1708

#### Curves見附いちのつぼ

所在地:新潟県見附市市野坪町字浦910-1

TEL: 0258-61-1888

#### Curvesみくにiza

所在地:福井県坂井市三国町三国東5丁目1-20

TEL:0776-63-5526

●FIA会員

### Curvesイトーヨーカドー新浦安

所在地:千葉県浦安市明海4-1-1

イトーヨーカドー新浦安店内3階

TEL:047-712-6773

### Curves浜松可美

所在地:静岡県浜松市南区増楽町655

フードマーケットマム浜松可美店内

TEL:053-415-8010

### Curves千葉ニュータウン中央

所在地:千葉県印西市中央北1-469 アルカサール内

TEL:0476-37-5170

### Curves十和田穂並

所在地:青森県十和田市穂並町2-54

TEL:0176-58-0588

### Curvesイオン札幌桑園

所在地:北海道札幌市中央区北8条西14丁目28番地

イオン札幌桑園内2階

TEL:011-522-8889

### Curves浪館泉川

所在地:青森県青森市大字浪館字泉川20-5

TEL:017-752-6295

●FIA会員

### Curves八戸根城

所在地:青森県八戸市根城4丁目21-13

TEL: 0178-51-6923

### Curvesダイエー長吉

所在地:大阪府大阪市平野区長吉長原西1-4-6

TEL: 06-6702-2294

### Curvesオークワ橿原坊城

所在地: 奈良県橿原市東坊城町242-1

オークワ橿原坊城店2階

TEL: 0744-27-1123

### Curves天領日田

所在地:大分県日田市中央1丁目1-16

TEL:0973-28-6322

### Curvesマルナカ野市

所在地:高知県香南市野市町西野ヌノ丸2700-2

マルナカ野市店2

FTEL:0887-52-8722

●FIA会員

### Curves枚方牧野

所在地:大阪府枚方市牧野阪1丁目17-5 2階

TEL:072-866-1919

●FIA会員

#### Issue

記事

### ドコモとルネサンス、健康管理で提携 腕輪型端末で運動データ

NTTドコモとフィットネスクラブ大手のルネサンスは8日、健康管理事業で提携すると発表した。ドコモの腕輪型端末で収集する運動データを活用し、ルネサンスがより効果的なフィットネスメニューなどを顧客に提供できるようになる。個人のほか、企業や自治体向けにも提供して利用料を得る。

ドコモの腕輪型端末で歩数や消費カロリー、睡眠時間などのデータを収集し、ルネサンスのインストラクターや栄養士が提供する健康促進サービスの質を高める。企業や自治体向けサービスは今秋から、個人向けは年内に始める予定だ。具体的な利用料などは今後詰める。

(2015.5.8 日本経済)